



効果的なBLS研修をしていますか？

11月に病院機能評価受審もあり、各部門でBLS研修を実施され、ほぼ毎日のように、BLSグッズ（人形、AEDトレーナー、バッグバルブマスク）の貸し出しがありました。先日、中央放射線部のBLS研修に参加しました。中央放射線部は画像検査・診断・治療を行う部門ですが、造影CTによるアナフィラキシーショック発症や、心臓カテーテル治療中の急変に遭遇することがあり、中放スタッフでシナリオを考えてもらいました。

「造影CT中に患者急変！」という内容で、CT室の構造を考慮した人・物の配置（立ち位置やモニター配置、AED操作の位置確認）と応援体制、初期対応の流れ、技術チェックの確認を行いました。実技を確認するのみではなく、「この場面（この場所）で動けるか？」ということを念頭においた研修は、さまざまな意見交換もでき、とても効果的だと感じました。皆さんの部署も「こういう場面（場所）で急変が起こったら…」と考えてみてはいかがでしょうか？たくさんの改善点を発見でき、部内で検討する良い機会だと思います。



限られた空間を上手く使ってBLSを行うのは大変でしたが、いざという時にスムーズに実施できるように確認しておくことも重要です。

文責：救急看護CN 下村雅美

感染管理認定看護師になりました、大田黒裕介です。

2021年9月から翌年3月まで研修を受けました。COVID-19の影響で、実習は予定の半分になったり、認定審査が例年より遅くなったり、通常通りにはいかない研修となりました。審査に無事合格することができて安心したのと同時に、身の引き締まる思いです。

ここ数年感染といえば、COVID-19が話題なっていますが、世界的に見て耐性菌が問題になっています。何も対策を取らない場合（耐性率が現在のペースで増加した場合）、2050年には1,000万人が死亡すると想定されています。このような耐性菌を院内で広げないために感染対策が必要です。私たちができることは特別なことではありません。日常行っている手指衛生やPPE使用を正しいタイミングで正しく行うことがその対策のひとつです。そのために、これらを現場の皆さんと一緒に改善していきたいと考えています。

今後、知識・実践不足でご迷惑をかけることが多々あると思います。実践のなかで成長していけたらと思います。よろしくお願いします。

文責：感染管理CN 大田黒裕介



ストーマサイトマーキングについて

ストーマサイトマーキングとは、ストーマ造設される予定の患者さんの腹部に「ストーマを造るべき位置を体表上に選定して同部にしるしを付けること」です。術後セルフケア困難（管理困難）にならないように、術後の生活をイメージしてもらいながらマーキングをおこないます。また、この行為は、研修を修了したNsが実施できるとされており、診療報酬が450点加算されます。今回、北病棟3Fの吉原主任さんが修了されました。当院では5人目となります。患者さんのQOLに関わる大切な役割を担い、活動されています。応援してください。

文責：皮膚・排泄ケアCN 松北直美

